

ポーランド国内治安関連統計（2024年第4四半期）

令和7年 2月21日
在ポーランド日本国大使館

1. 2024年第4四半期（10月～12月）治安統計

国家警察本部の情報によると、2024年第4四半期（10月～12月）の総犯罪認知件数は19万821件となった。

前期（2024年第3四半期）比では、総犯罪認知件数が35.9%増となった。例年、第4四半期は、前期比でほぼ全ての犯罪類型の認知件数が増加する傾向が見られる。

前年同期（2023年第4四半期）比では、総犯罪認知件数が2.2%減となった。一方、犯罪類型別では、傷害、暴行、強姦及び薬物犯罪が増加した。

	2023年第4四半期		2024年第1四半期		2024年第2四半期		2024年第3四半期		2024年第4四半期		
	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	件数	前期比	前年同期比
総認知件数	195,181	134.7%	232,649	119.2%	226,200	97.2%	140,395	62.1%	190,821	135.9%	97.8%
殺人	133	125.5%	113	85.0%	152	134.5%	108	71.1%	129	119.4%	97.0%
傷害	2,490	134.8%	2,095	84.1%	2,925	139.6%	1,813	62.0%	2,592	143.0%	104.1%
暴行	725	134.8%	546	75.3%	880	161.2%	513	58.3%	761	148.3%	105.0%
強姦	297	141.4%	234	78.8%	347	148.3%	203	58.5%	318	156.7%	107.1%
強盗	1,124	149.3%	1,112	98.9%	1,389	124.9%	790	56.9%	955	120.9%	85.0%
窃盗	27,748	99.8%	20,869	75.2%	25,580	122.6%	20,172	78.9%	25,599	126.9%	92.3%
車両窃盗	2,337	164.5%	950	40.7%	1,508	158.7%	1,261	83.6%	2,015	159.8%	86.2%
侵入盗	13,458	114.7%	17,551	130.4%	16,843	96.0%	10,373	61.6%	12,366	119.2%	91.9%
薬物犯罪	14,127	116.8%	18,689	132.3%	22,948	122.8%	13,857	60.4%	15,587	112.5%	110.3%
偽造	3,688	160.2%	3,849	104.4%	4,454	115.7%	2,771	62.2%	3,684	132.9%	99.9%

（国家警察本部の情報を基に作成）

2. 邦人被害発生状況（当館に報告のあった事案）

- ワルシャワ市内のレストランで、鞆に入れていた貴重品が窃盗された。
- ワルシャワ市内で、駐輪していた自転車が置き引きされた。

3. 日系企業の安全に関する諸問題等

- 日系企業の安全について、特段の問題は認知されず。

4. テロ関連事案

- 11月26日、トウスク首相は、ポーランド全土のテロ脅威レベル「BRAVO」(レベル2)及びサイバー空間のテロ脅威レベル「BRAVO-CRP」(レベル2)の期限を延長する命令に署名した。これらレベルは2025年2月28日まで有効となる。いずれのレベルも4段階のうち下から2番目に高い脅威レベルで、「予見可能なテロの脅威が高まっている」場合に適用される。治安機関員は、武器や防弾チョッキを着用し、テロ対策のため必要に応じて車両等を検査するほか、長期間使用されていない建物や部屋を閉鎖することが可能となる。

5. その他参考事案

- 12月10日、警察の中央捜査局(CBIP)は、ゴーゴークラブ(ダンスホール的一种)で客をだまして金銭をゆすり取ったとして、女性4人を逮捕したことを明らかにした。検察庁のシロンスク支部は、女性4人に加え、ダンサーやバーテンダーを含む計9人を起訴した。女性4人は、ゴーゴークラブのマネージャーを担当し、クラクフ、ザコパネ、カトヴィツェ、ソポト等に所在する傘下のクラブで、100人以上の客から総額30万ズロチをゆすり取ったとされる。起訴された9人のうち7人は、組織的犯罪グループに関与していた疑いがもたれている。

この捜査のきっかけとして、2017年、クラクフのゴーゴークラブを訪れた36歳英国人男性が、故意にアルコール中毒に陥らせられて死亡する事件が発生した。この男性は、客引きから誘われてクラブの個室に連れて行かれた後、提供された20杯以上の高濃度アルコールを飲み、2,000ズロチ以上を奪われたとされる。

(次頁に参考情報として中・長期的な治安統計を掲載)

【参考：過去5年の犯罪認知件数の推移】

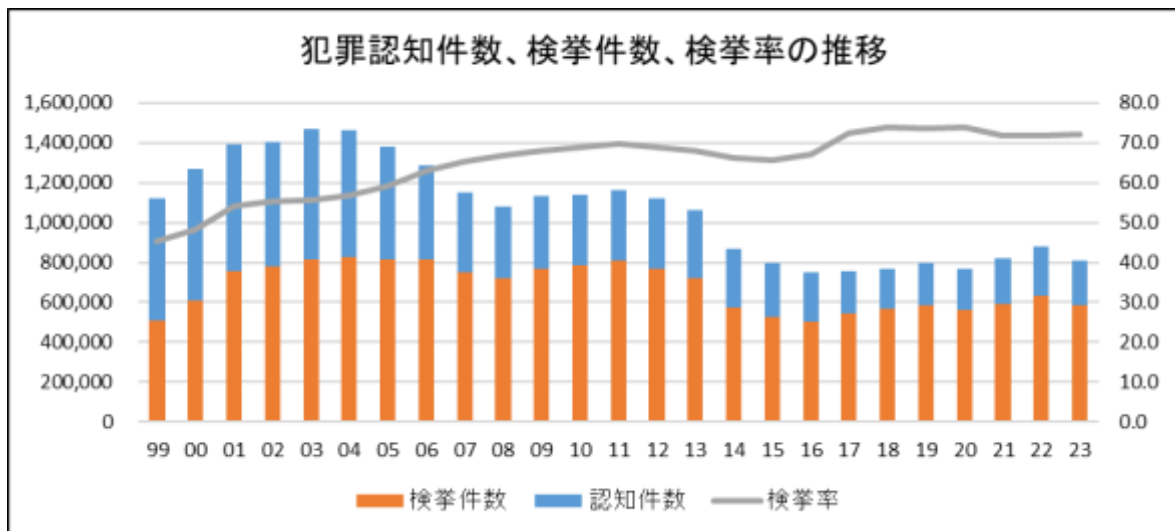
- 総認知件数は、2020年以降増加傾向にあったが、2023年以降減少に転じた。
- 車両窃盗及び侵入盗は、2021年以降、減少傾向にある。
- その他犯罪類型は、増減するも特段の傾向は見られない。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総認知件数	784,214	109.7%	880,704	112.3%	880,931	100.0%	809,133	91.8%	790,065	97.6%
殺人	653	141.0%	623	95.4%	506	81.2%	565	111.7%	502	88.8%
傷害	9,603	98.5%	8,392	87.4%	9,549	113.8%	9,329	97.7%	9,425	101.0%
暴行	3,226	91.5%	2,482	76.9%	2,888	116.4%	2,842	98.4%	2,700	95.0%
強制性交	1,076	86.2%	1,161	107.9%	1,108	95.4%	1,111	100.3%	1,102	99.2%
強盗	5,284	92.8%	4,646	87.9%	4,823	103.8%	4,647	96.4%	4,246	91.4%
窃盗	100,074	112.8%	116,691	116.6%	123,589	105.9%	119,701	96.9%	92,220	77.0%
車両窃盗	8,828	119.3%	8,056	91.3%	7,423	92.1%	6,375	85.9%	5,734	89.9%
侵入盗	74,339	119.7%	72,324	97.3%	70,069	96.9%	64,347	91.8%	57,133	88.8%
薬物犯罪	66,425	113.4%	73,157	110.1%	69,991	95.7%	67,251	96.1%	71,081	105.7%
偽造	17,191	94.5%	13,416	78.0%	13,812	103.0%	13,522	97.9%	14,758	109.1%

(国家警察本部の情報を基に作成)

【参考：長期的な犯罪認知件数等の推移】

- 2000年代初めに一時的に治安が悪化したが、警察による取締強化や警察能力の向上によって治安が改善し、近年の治安状況は安定している。



(国家警察本部の情報を基に作成)